
**2005年度
中間決算説明会**

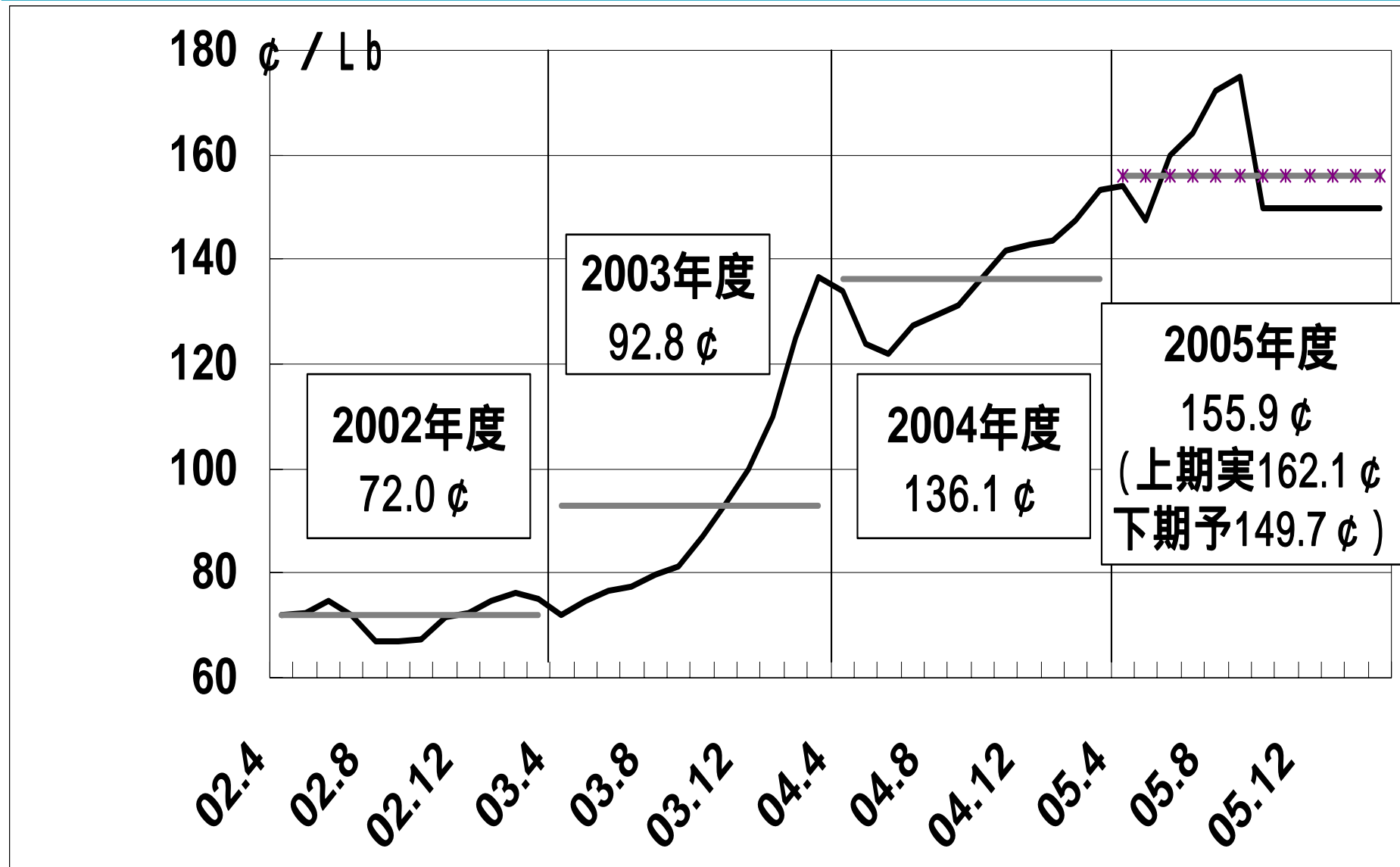
**住友金属鉱山株式会社
2005年11月07日**

本日の内容

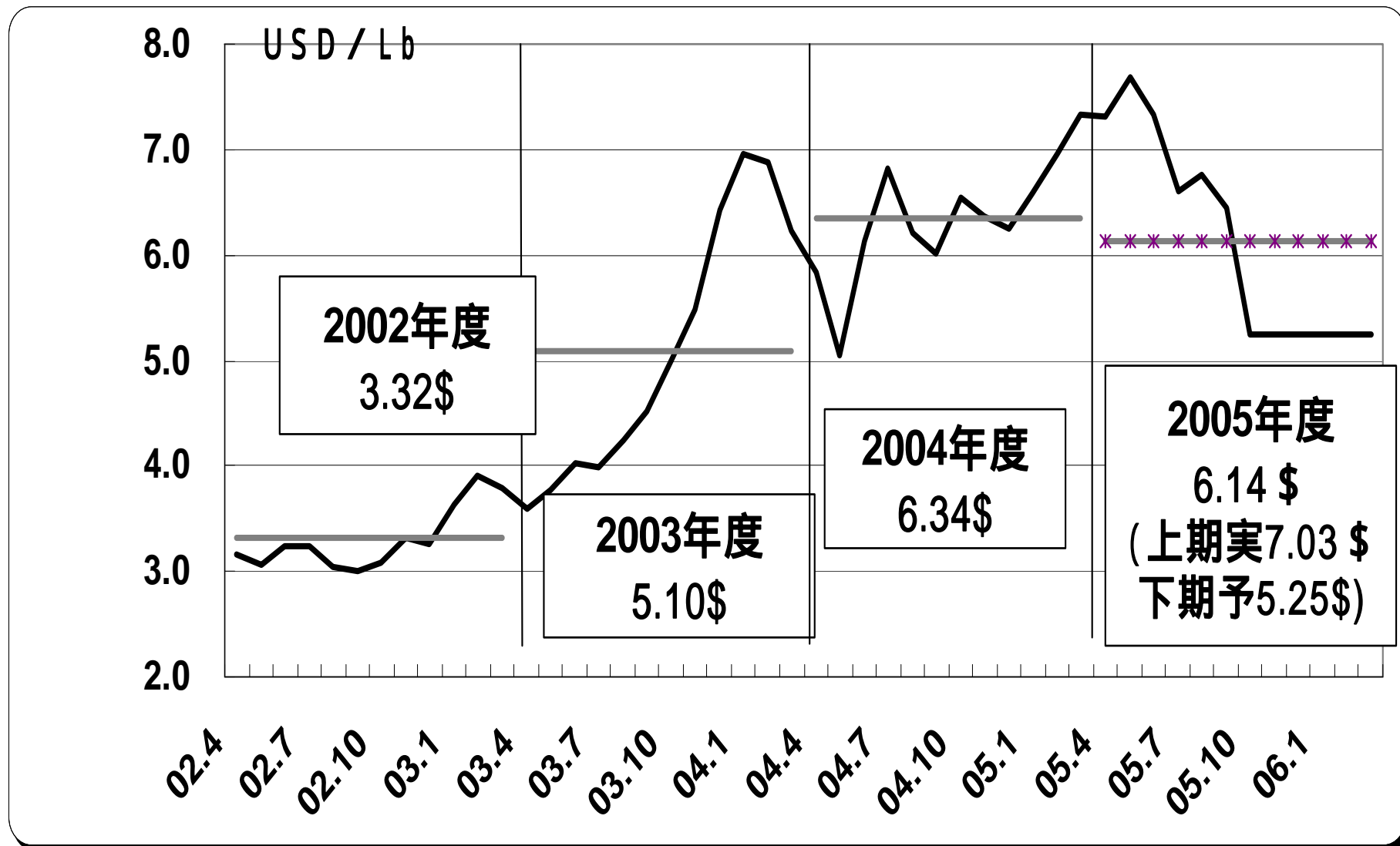
- 1 . 主要前提諸元
- 2 . 2005年度 中間決算の状況
- 3 . 2005年度 年度決算見通し
- 4 . 主要戦略の状況

2005年度（中間・年度）の業績について

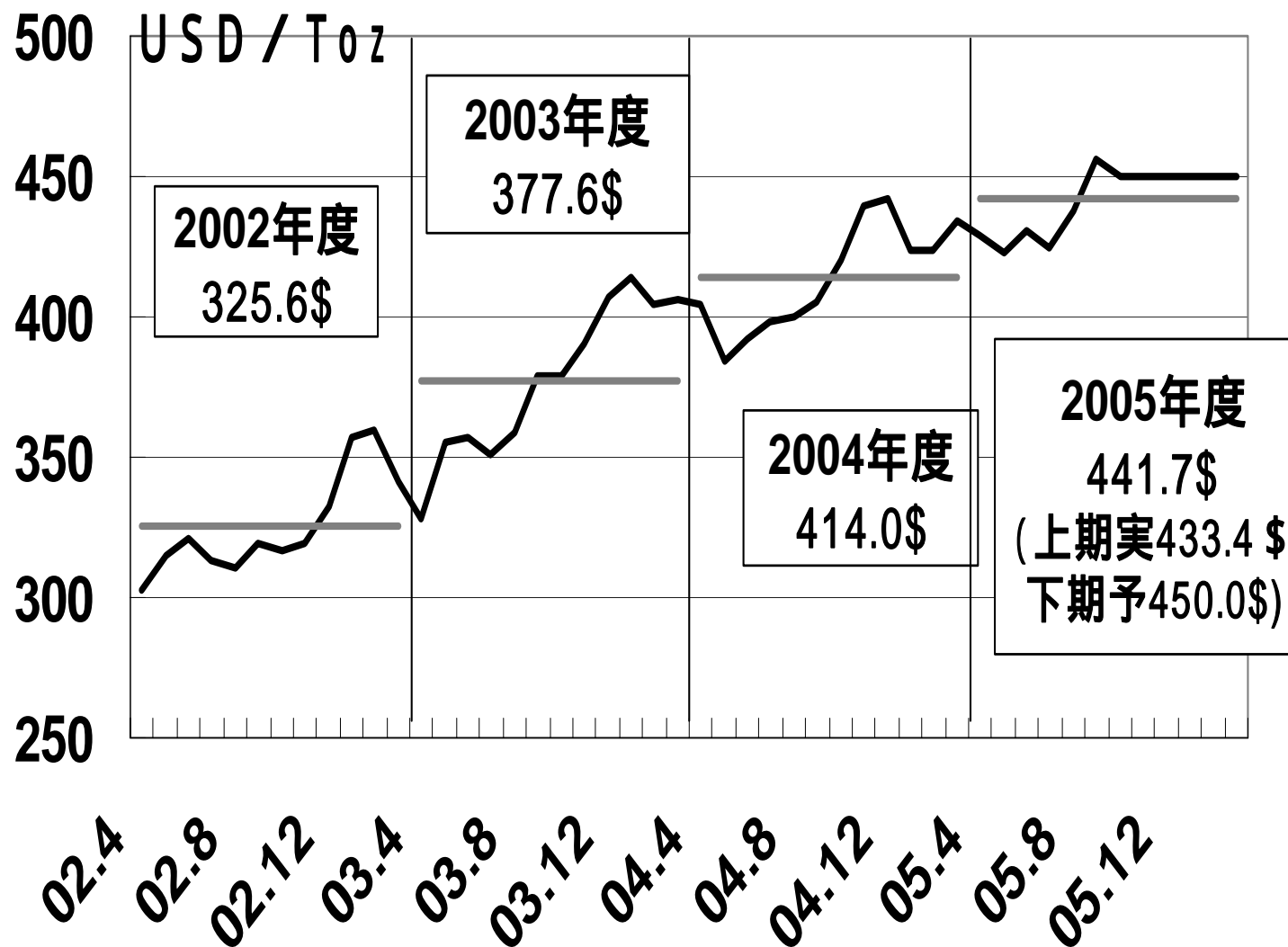
銅 価格推移



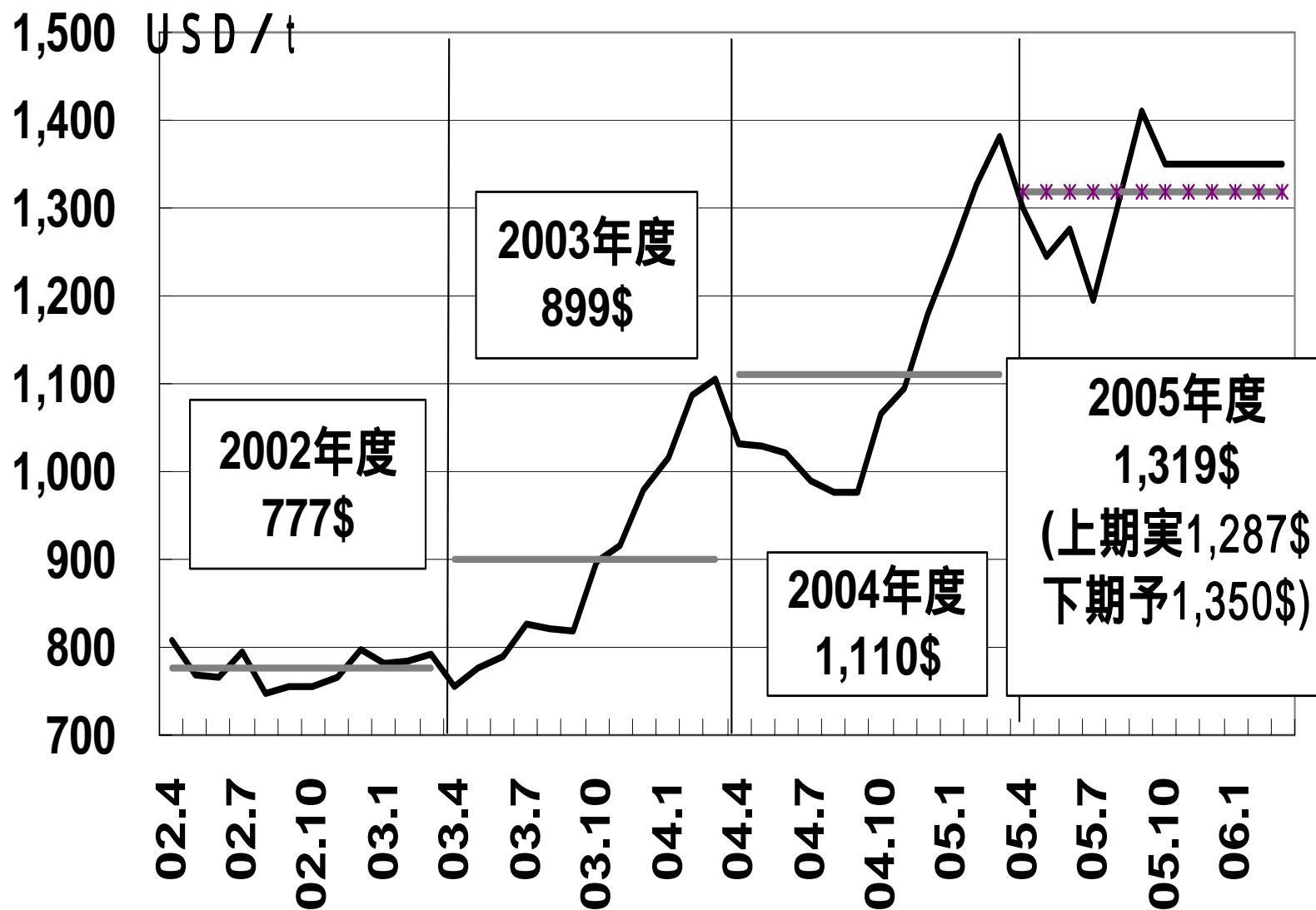
ニッケル価格推移



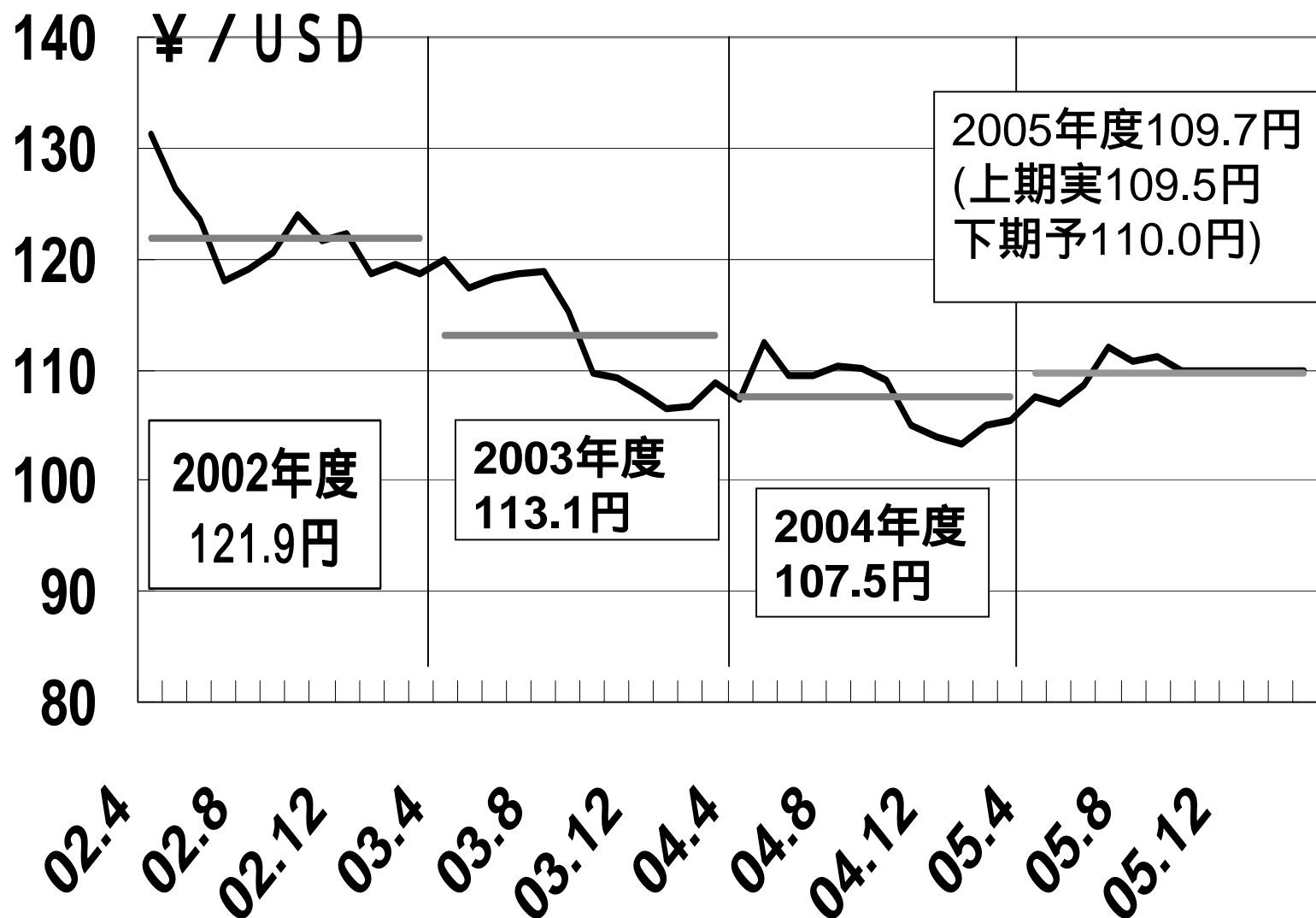
金 価格推移



亜鉛 価格推移



円/\$為替推移



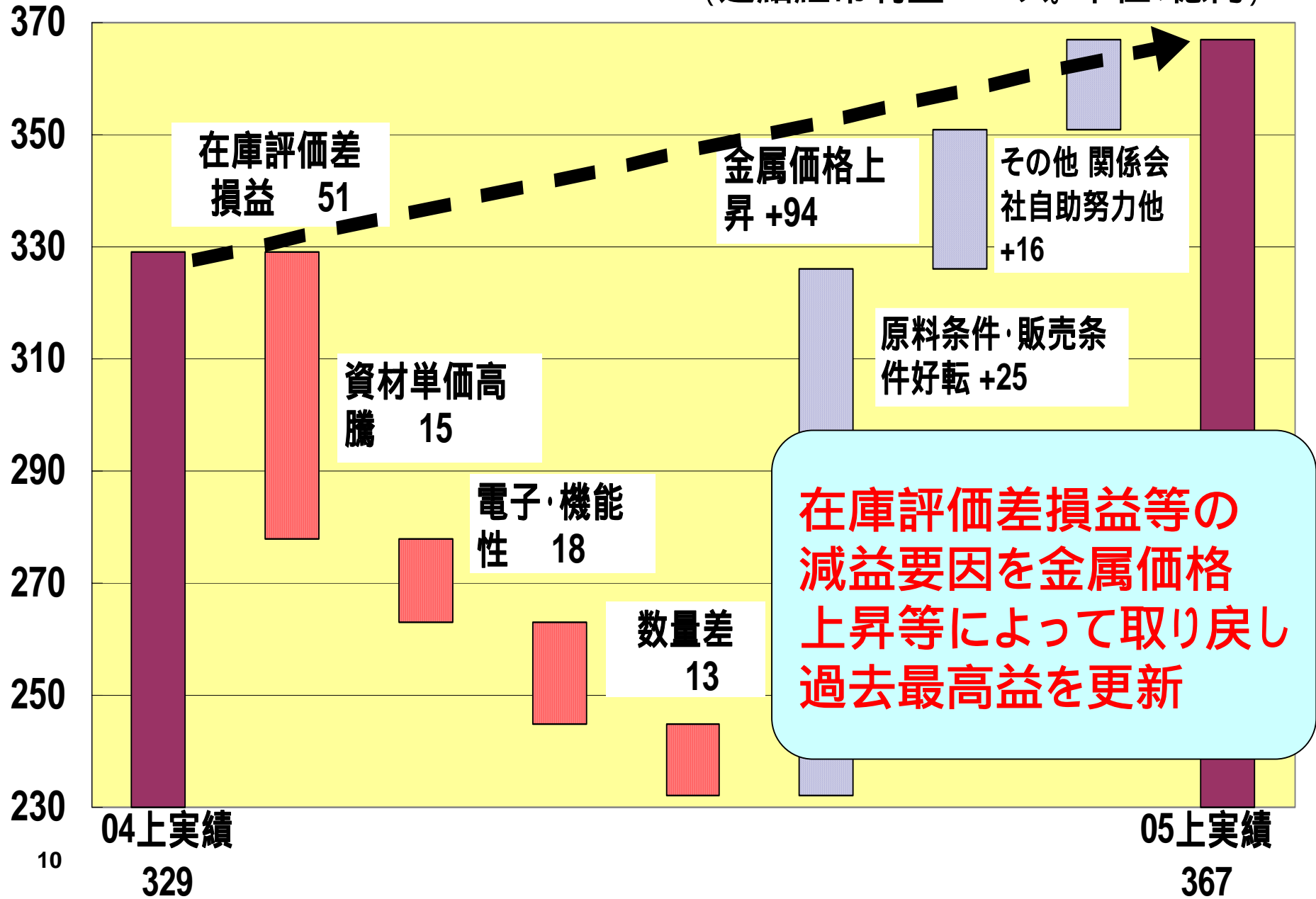
中間決算: 損益概要(連結)

	2005年度 中間期	2004年度 中間期	増減
売上高	2,720億円	2,341億円	+379億円
営業利益	293億円	300億円	7億円
経常利益	367億円	329億円	+38億円
当期純利益	236億円	211億円	+25億円

経常利益・当期純利益 過去最高益を更に更新
営業利益 過去最高益であった2004年度中間期並

中間決算のポイント

(連結経常利益ベース。単位：億円)



中間期:連結セグメント別損益内訳 単位:億円

	05年度 中間期	04年度 中間期	増減	主な理由
資源	55	41	14	単体+3 関係会社他+11
金属・金 属加工	164	189	25	単体 18 関係会社他 7 (単体売上総利益:Cu8 Ni 11 Zn 6)
電子・ 機能性	42	60	18	単体8 関係会社他 26
住宅建材	11	6	5	単体0 関係会社他5
その他・ 消去等	21	4	17	その他部門22 連結消去等 5
全社計	293	300	7	

下期/年度:損益見通し概要(連結)

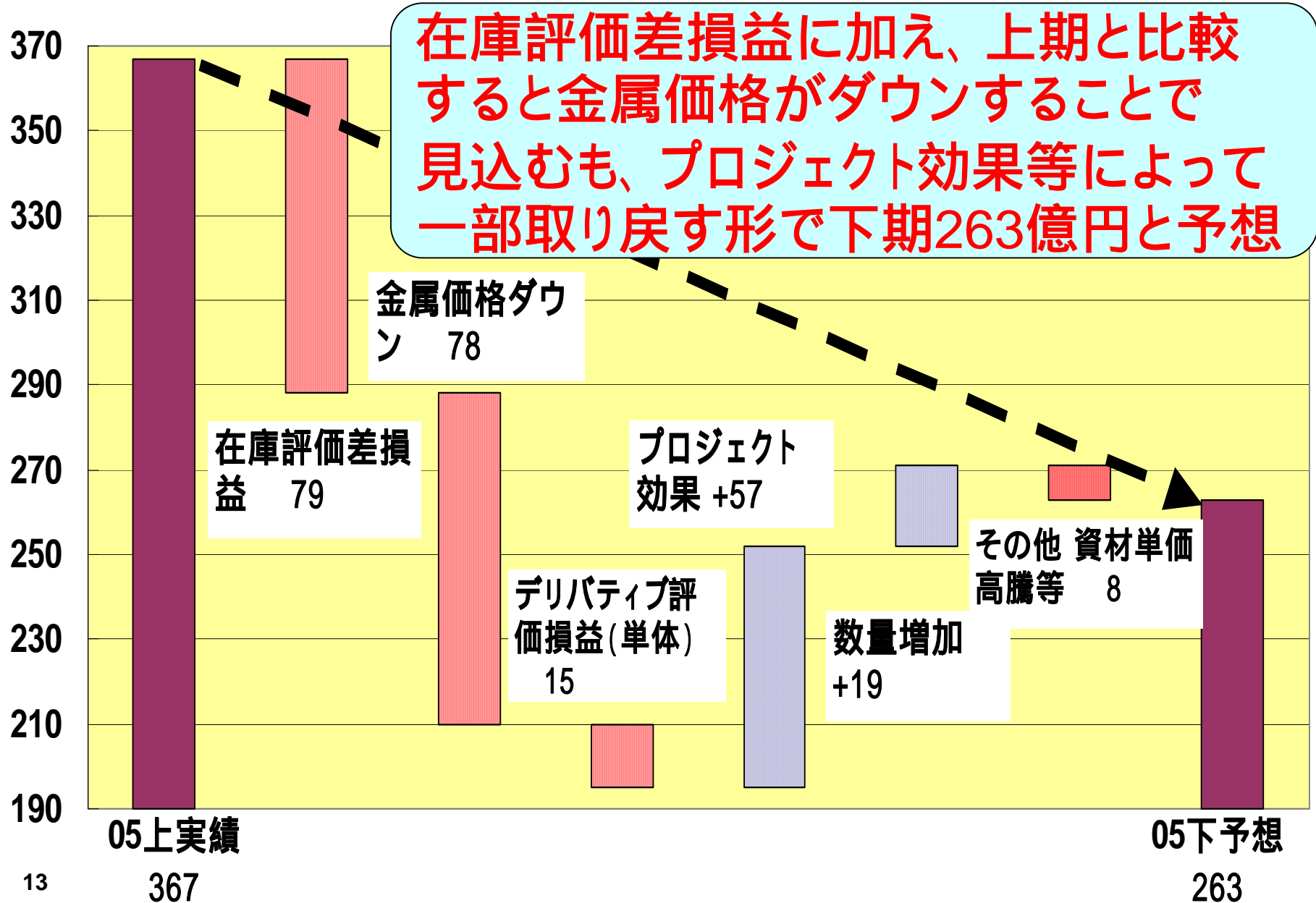
単位:億円

	上期 実績	下期 予想	年度 予想	04年度 実績	増減
売上高	2,720	2,580	5,300	4,846	+454
営業利益	293	217	510	479	+31
経常利益	367	263	630	545	+85
当期純利益	236	164	400	370	+30

いずれの利益水準においても
2004年度の過去最高益を更に更新

下期損益見通しのポイント

連結経常利益ベース/億円



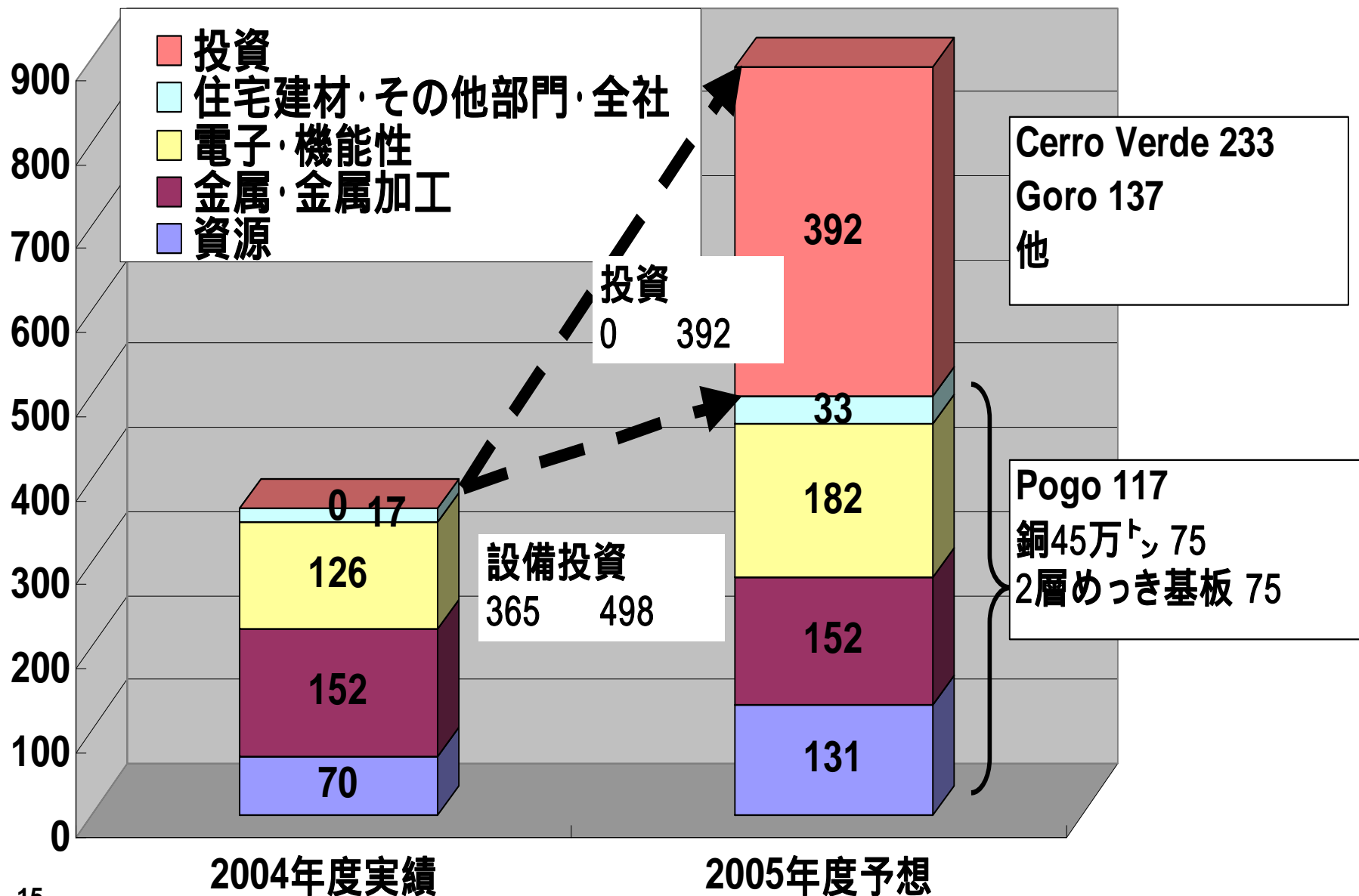
下期:連結セグメント別損益内訳

単位:億円

	05年度 下期	05年度 上期	増減	主な理由
資源	57	55	2	単体 3 関係会社他+5
金属・金 属加工	93	164	71	単体 87 関係会社他+16 (単体売上総利益:Cu 23 Ni 68 Zn2)
電子・ 機能性	49	42	7	単体1 関係会社他6
住宅建材	5	11	6	単体0 関係会社他 6
その他・ 消去等	13	21	8	その他部門 9 連結消去等1
全社計	217	293	76	

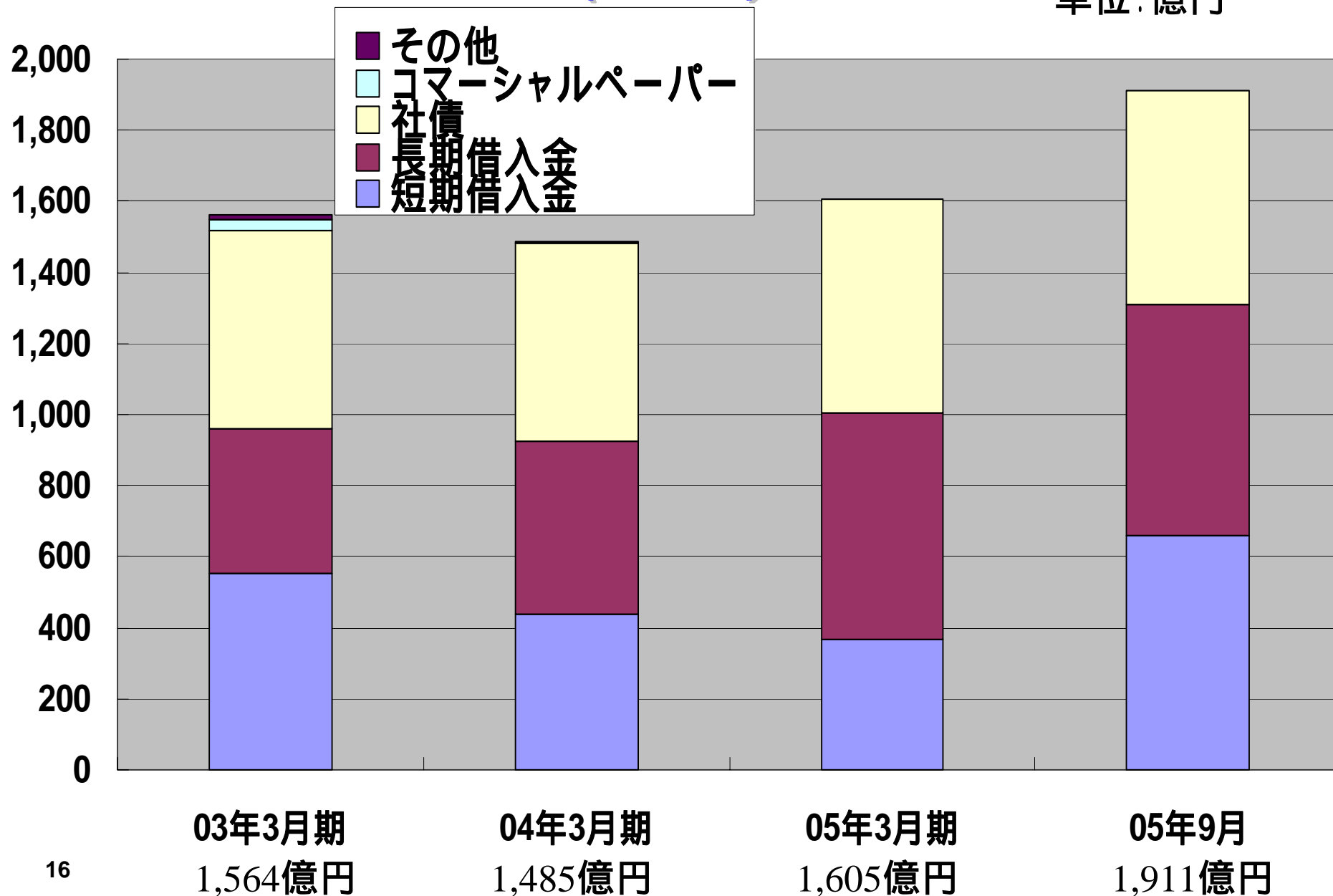
設備投資の状況(連結)

単位: 億円



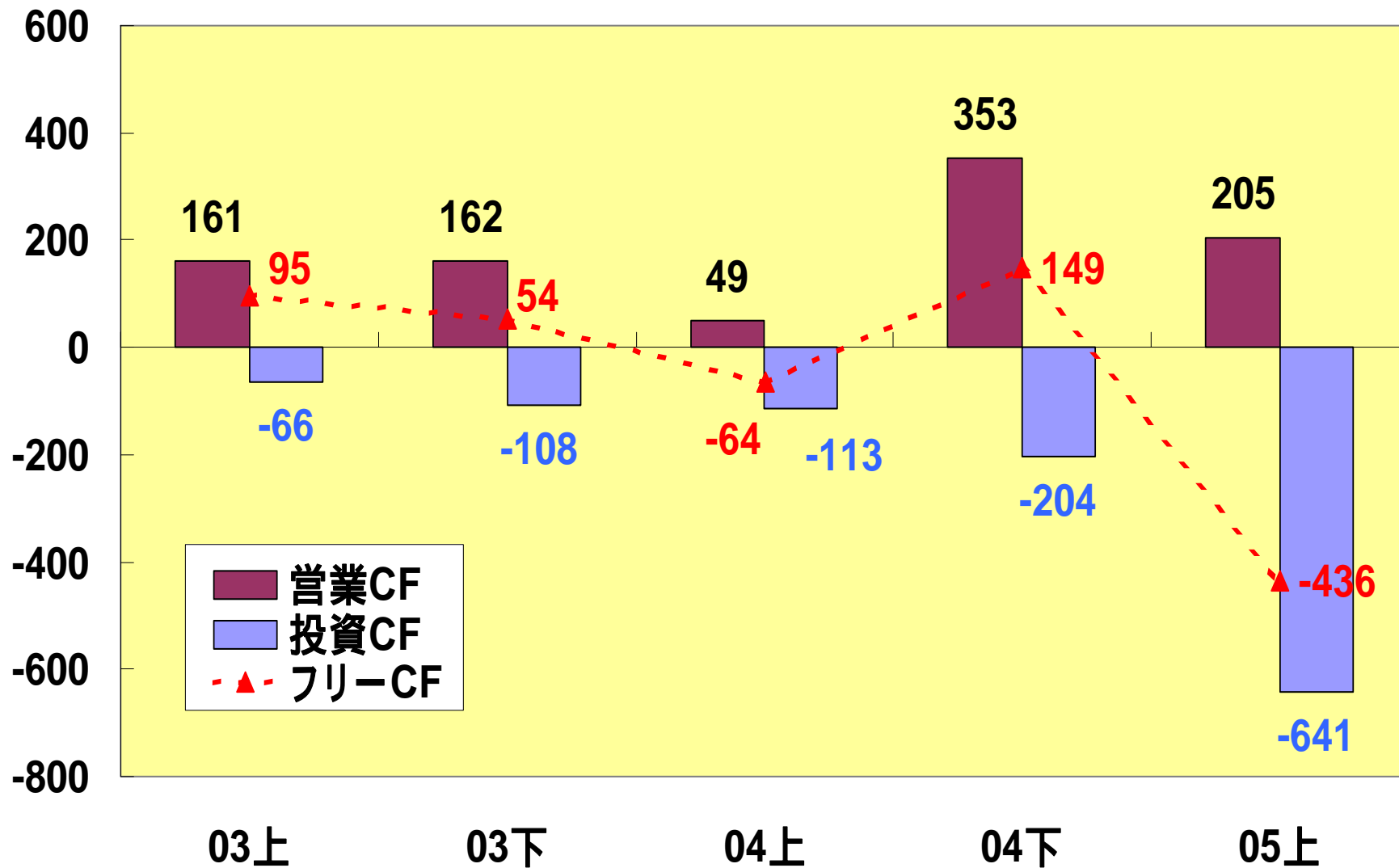
有利子負債の状況(連結)

単位: 億円



フリーキャッシュフローの状況(連結)

単位:億円



フリーCF=営業CF + 投資CF

当社の事業戦略について

当社の経営課題

1. 資源・金属 5大プロジェクトの確実な収益化

< 計画段階から実行段階へ >

2. 戦略商品の更なる成長と新商品開発

3. 経営環境変動への対応

市況変動 / 業界再編 / 商法改正

4. Free Cash Flowの向上

- 運転資本の確実な管理
- 持分法投資会社の業績向上 Cash Flow取り込み

非鉄メジャークラスへの道

5大プロジェクト

Pogo金鉱山開発プロジェクト(米国アラスカ州・Au)

Coral Bay・ニッケルプロジェクト(フィリピン・Ni)

Goroプロジェクト参画(ニューカレドニア・Ni)

Cerro Verde鉱山開発参画(ペルー・Cu)

東予製錬所・銅45万トン体制確立(日本・Cu)

5大プロジェクト

	当社権 益比率	投資額() (百万米ドル)	生産開始時期 生産能力
Pogo (金)	51%	357	2006年3月 12t of Au/年
Coral Bay (ニッケル)	54%	180	2005年4月 10,000 t of Ni/年
Goro (ニッケル)	11%	1,878	2007年秋 60,000t of Ni/年
Cerro Verde(銅)	16.8%	850	2006年10-12月期 180,000t of Cu/年
銅45万トン	(100%)	200億円	2006年度中に能力410,000tへ 2007年度以降に能力450,000tへ

投資額=プロジェクト100%Base

ポゴ金鉱山開発プロジェクト



ポゴ金鉱山開発プロジェクト

SMMがマジョリティを握る

初の海外鉱山開発プロジェクト

当社51%、住友商事9%、テックコムンコ社40%

開発投資額 357百万米ドル

推定埋蔵金量 152トン

2004年6月建設工事開始

2006年3月操業開始に向けて順調に進捗中

生産量 12トン/年

コーラルベイ・ニッケルプロジェクト



コーラルベイ・ニッケルプロジェクト

SMMがマジョリティを握る 海外初の製錬プロジェクト

当社54%、三井物産18%、双日18%、Rio Tuba Nickel Mining10%

総投資額	180百万米ドル
2005年4月	商業生産開始
生産量	2005年度 5千トン/年予定 2006年度以降 1万トン/年を約20年間予定

《今後の課題》

コーラルベイ・ニッケルの拡張
第2HPAL(新規サイト)への展開

ゴロ・ニッケルプロジェクト



ゴロ・ニッケルプロジェクト

ニッケル事業基盤強化のため資本参加

2005年4月、INCO社と本契約締結

日本側権益 21%

SMM 11%、三井物産 10%

総投資額 1,878百万米ドル

生産量 約6万トン/年(ニッケル量換算)

2007年秋 生産開始予定

セロベルデ 銅鉱山開発



セロベルデ銅鉱山開発

銅資源・原料確保のため資本参加

2005年3月、フェルプスドッジ社と本契約締結

日本側権益 21% SMM 16.8%、住友商事 4.2%

硫化鉱開発プロジェクト

総投資額 850百万米ドル(日本側投資額265百万米ドル)

生産量 18万トン/年(銅量換算)

銅精鉱引取り権:

当初10年間:生産量×50%(9万銅トン/年)

それ以降:少なくとも保有権益見合い

2006年第4四半期生産開始予定

東予製錬所 45万トンの体制確立 (銅)



東予製錬所 45万トン体制確立 (銅)

生産能力増強によるコスト競争力の確保

総投資額 約200億円

2005年官休(5/15～6/19)で転炉増設、電解1次増強
36.5万トン/年体制

2006年度 41万トン/年体制

2007年度以降 45万トン/年体制

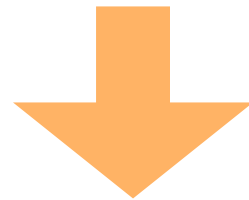
金属生産量：実績 / 計画

	05上期 実績	05下期 計画	05年度計
銅	138 Kt	180 Kt	317 Kt
金	20 t	24 t	44 t
ニッケル	26 Kt	28 Kt	53 Kt
亜鉛 ()	45 Kt	48 Kt	93 Kt

亜鉛：委託製錬除く

電子・機能性材料事業戦略

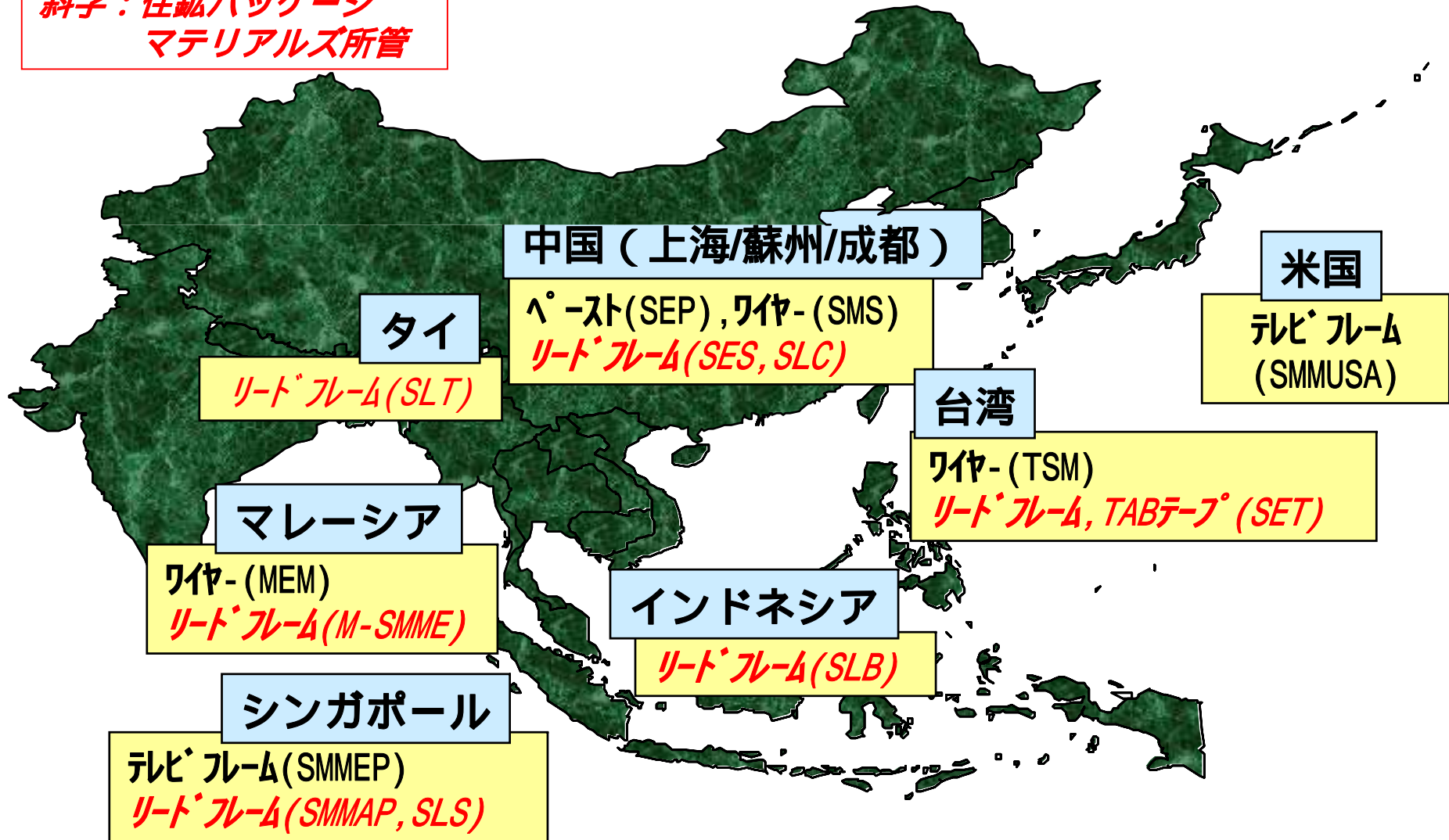
それぞれの商品が世界トップクラスのシェア



存在感のある事業となることをめざす

電子事業の海外拠点

斜字：住鋳パッケージ
マテリアルズ所管



電子分野における事業提携

光通信関連部品事業

希土類鉄ガーネット(ファラデー回転子)

提携先 : 三菱ガス化学株式会社

合併会社名 : (株)グラノプト(2005/4/1設立)

出資比率 : 50対50

液晶ディスプレイ向け透明電極材料事業

IZO (Indium Zinc Oxide) ターゲット材

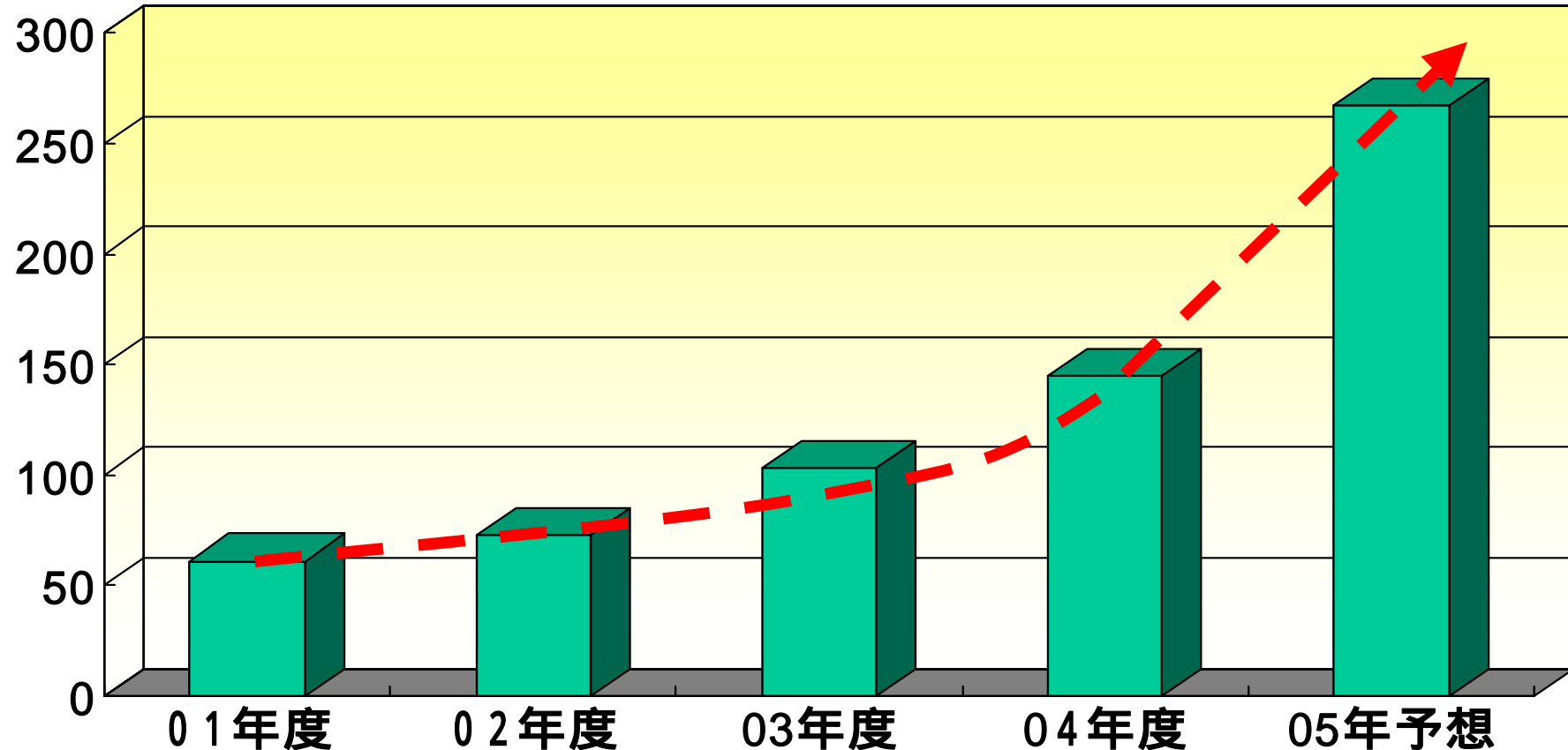
提携先 : 出光興産株式会社

合併会社名 : ISエレクトロード・マテリアルス(株) (2005/4/1設立)

出資比率 : 出光51対住友49

機能性材料売上推移と 2層めっき基板 増強計画

(億円)



< 2層めっき基板生産能力 >	
2005年3月末	240万m ² /年
2005年度中	450万m ² /年

集中と選択の進捗

関係会社数の変遷

2000年2月	減少		増加	2005年9月
	売却清算等	合併	新規設立	
94社	30社	3社	+19社	80社

増加19社の内訳

資源	金属	電子・機能性	その他	計
5社	5社	8社	1社	19社

本年度の主要増加会社

(資源) セロ・ベルデ(株)、SMMセロベルデネザーランド
(金属) ゴロ・ニッケル(株)
(電子) (株)グラノプト、ISエレクトロード・マテリアルズ(株)

本資料は、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。